

令和4年度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

(1) 手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。

岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、令和4年度末現在の登録者は、昨年から6名増え121名となった。

事業実施のための財源は、手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

① 月別派遣件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	合計
14	31	26	23	25	34	153	406
10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	
59	48	26	44	46	30	253	

② 地区別派遣件数

岡山市	倉敷市	津山市	笠岡市	総社市	高梁市	瀬戸内市	赤磐市	合計
301	29	1	1	1	5	10	11	406
美作市	和気町	早島町	里庄町	矢掛町	美咲町	吉備中央町	勝央町	
9	1	2	1	1	13	18	2	

③ 内容別派遣件数

ワイク	放送	生命・健康	警察・裁判	生活・設計	行政	合計
15	49	23	34	15	15	406
学校・教育	職業・労働	文化・スポーツ	会議・集会	聴障協活動	その他	
44	78	21	93	7	12	

(2) 手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）からの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。

講師登録研修を受けた者を毎年登録しており、令和4年度末現在の登録人数は73名である。

事業実施のための財源は、手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣 日数	派遣 人数	備 考
岡山市福祉交流プラザさいでん	19	2	地域住民
	1	2	南乙多見老人会「和の会」
	1	2	財田学区愛育委員
旭川荘厚生専門学校 吉井川キャンパス	15	2	介護福祉科1年生
国立吉備高原職業リハビリテーションセンター	20	1	職員向講座
新見市社会福祉協議会	24	2	奉仕員養成基礎
瀬戸内市役所福祉部福祉課	22	1	奉仕員養成基礎
県立瀬戸南高等学校	16	2	生活デザイン科福祉類型
朝日医療大学校	15	2	看護学科4年
	29	2	歯科衛生学科
専門学校岡山ビジネスカレッジ	1	3	講師団会議
	30	2	1年医療事務①(前後期)
	30	2	1年医療事務②(前後期)
	15	2	2年医療事務登録販売者・薬局事務
	15	2	2年医療事務病院事務・歯科受付
	15	2	3年診療情報管理士
	8	2	1年介護福祉
美作市スポーツ医療看護専門学校	16	2	介護科
専門学校岡山ビューティモード	17	2	1年ヘアビューティ学科
総社市 福祉課	22	1	奉仕員養成基礎
就実高等学校	20	2	3年進学コース医療看護・科学クラス
岡山高等歯科衛生専門学校	8	2	1年生
岡山県立岡山豊学校	4	2	教師・事務職員・寄宿舎教師

高梁市	24	2	奉仕員養成講座基礎 実技
	2	1	奉仕員養成講座基礎 講義
	10	2	救命救急士・警察官
	1	1	こども講座
	1	2	出前講座
	3	2	パワーアップ講座
玉野手話講師団	24	1	初心者
	26	1	入門課程修了者
県立津山東高等学校	2	2	看護科1年
明誠学院高等学校 吹奏楽部	1	2	吹奏楽部員
岡山県警察学校	1	2	警察職員
(株)岡山村田製作所人事課	2	2	手話講座
	1	2	手話指導
両備ホールディングス(株)	1	2	従業員
岡山市立岡山後楽館高校	1	2	2年コミュニケーション技術選択者
玉野手話サークル	1	2	初心者
倉敷市玉島池畝会館	1	2	初心者
合計	465	74	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、機関紙一般購読事業を実施した。

機関紙を岡山県内の正会員、賛助会員、手話サークル会員等の手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ月1回定期的に発行した。（発行部数 512部・年間購読料2,500円）なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の正会員、賛助会員には所定の年会費を徴収し配布した。

機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」及び機関紙購読料を充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者のパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施していたが、平成28年度から委託が終了したため、令和4年度は事業を休止した。

(1) パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、受託が得られなくなったため、事業を休止した。

事業実施のための財源は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため令和4年度は事業を休止した。

(2) パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、委託が終了したため、令和4年度は事業を休止した。

事業実施のための財源は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため令和4年度は事業を休止した。

4. 福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

「県民ふれあい手話まつり」事業は、各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、令和4年度は井原支部が万全なコロナ感染防止対策を講じたうえで実施した。

手話まつりの対象者は、聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。令和4年の実施内容は以下の通り

である。

令和4年11月20日（日）に井原市七日町のアクティブライフ井原において、「第38回県民ふれあい手話まつり」を開催し、参加人数は258名であった。

午前10時から開会式典、その後、オープニングとして消防署と共同作成映像上映座談会を行った。午後からアトラクションとして「井原ぼっけえ体操」・「コント」・「井原クイズ」を行った。また、別フロアにおいて関係団体による作品展示やフリーマーケットが行われた。

手話まつりは、協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、地域の一般の方々も来場され、地域交流にふさわしい場となった。また、県民の聴覚障害者に対する理解や認識を広める良い機会となった。

事業実施のための財源は、岡山県障害児（者）社会促進事業費補助金の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発又、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

（1）ろう高齢者の集い事業

令和4年10月23日（日）午後から岡山県ろう高齢者の集いを岡山県聴覚障害者センターで開催した。コロナ禍のため、中止をと考えていたが、希望者のみで集まって困っていること（近所付き合いのトラブル、一人暮らしの不安など）の解決策を話し合った。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

毎年、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて、聴覚障害者の啓発を目的として聴覚障害者フォーラム事業を実施しているが、令和4年度はコロナ感染防止のため中止した。

事業実施のための財源は、共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）等を充当している。

（3）聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの利用料、寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を実施した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供及び生活向上のための学習、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域

で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は、週1回（月曜日）、現在は週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

令和4年度の利用者は、聴覚障害者682名、健聴者337名、合計1,019名となった。

倉敷市内の協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し、交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りを行った。参加者は協会の機関紙やホームページを通して広く一般に呼びかけるとともに各支部を通して協会会員以外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. 映画上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために映画上映事業を実施している。

令和4年度は以下のとおり、全日本ろうあ連盟70周年記念映画「咲む（えむ）」の上映会を実施した。

実施日	上映会場	来場者数
令和4年 6月26日(日)	玉野市総合保健福祉センター	45名
令和4年 7月31日(日)	落合総合センター	167名（1回目105名、 2回目62名）
令和4年 11月19日(土)	高梁市文化交流館	101名
	主催：「高梁市手話言語条例」記念事業実行委員会	

事業実施のための財源は、来場者からの上映料収入を充当した。

7. 岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に取り組んでおり、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

(1) 手話通訳者養成事業

1. 目的

手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる者に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務、手話通訳に必要な語彙や手話通訳表現技術等の指導を行うことにより、手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座（42時間）「応用課程」（42時間）「実践課程」（24時間）の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 令和4年度実績

(1) 手話通訳者養成講座

①手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	受講者数	修了者数	開催地
基本課程（手話通訳Ⅰ）	20	14	9	岡山市
基本課程（手話通訳Ⅰ）	28	11	11	倉敷市
応用課程（手話通訳Ⅱ）	17	10	5	岡山市
応用課程（手話通訳Ⅱ）	28	12	10	浅口市
実践課程	12	10	9	岡山市

②手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 1名派遣

③全国統一試験（岡山県登録試験）の実施

実施日	受講者数	合格者数	合格率
令和4年12月3日（土）	31	2	6.5%
※全国状況	1,535	281	18.3%

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として2名登録した。

④県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者
- ・医師：玉島協同病院 道端達也医師
- ・健診：一次健診 問診票による健診 115名中 99名受診【受診率86.1%】
二次健診 医師による健診 14名中 6名受診【受診率42.9%】

(2) 手話通訳士養成研修事業

1. 目的

裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成するとともに手話通訳士を対象とした現任研修を実施する。

2. 研修対象者及び実施方法

研修名	対象者	実施方法
手話通訳士養成研修	登録手話通訳者	登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
手話通訳士現任研修	手話通訳士	手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
指導者養成研修	講師予定者	手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。

3. 令和4年度実績

①【手話通訳士養成研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和4年5月28日 ～令和5年1月22日	15	12	8	岡山県聴覚障害者センター

②【手話通訳士現任研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和4年5月28日 ～令和4年11月13日	8	24	7	岡山県聴覚障害者センター

③【指導者養成研修】

実施期間	回数	受講者数	修了者数	実施場所
令和5年3月11日	1	13	13	岡山県聴覚障害者センター

④【手話通訳士緊急確保対策事業派遣】

・合格者フォローアップ講座

期間	人数	主催	備考
令和4年7月及び 令和5年1月～2月	2	聴力障害者情報文化センター	オンライン

⑤手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

実施日	受講者数	合格者数	合格率
学科：令和4年 7月24日（日） 実技：令和4年10月 2日（日）	13	2	15.4%
※ 全国 の 状 況	1,097	146	13.3%

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

(3) 要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

実施期間	回数	受講者数	修了者数	登録者	実施場所
令和4年 6月 5日 ～令和4年12月11日	18	21	18	4	岡山県聴覚障害者センター

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

実施日	受講者数	合格者数	合格率
令和5年2月19日（日）	23	4	17.4%
※ 全国 の 状 況	946	253	26.7%

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

(ステップアップコース)

クール	実施期間	参加者数	実施場所
1	令和4年11月12日～令和4年11月14日	2	オンライン

(4) 手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 内容 センターに手話通訳者3名を配置

3. 主な業務

- ① 病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ② きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④ 聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤ 市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥ その他

(5) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象先 市町村

3. 令和4年度実績（年間派遣数）

派遣先	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣	
	件数	人数	件数	人数
広域派遣	217	232	8	15
同一市町村派遣	101	110	15	15

(6) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（派遣）

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

団体名	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣	
	件数	人数	件数	人数
岡山県聴覚障害者福祉協会	6	24	3	13
岡山県難聴者協会	1	2	19	54
その他の団体	2	4	1	4

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

	※ 開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和4年 6月19日	社員総会	6(4)
2	令和4年 7月17日	岡山県手話通訳問題研究集会(式典・講演会)	4(5)
3	令和4年 7月24日	中国地区ろうあ女性集会	3
4	令和4年 11月20日	県民ふれあい手話まつり(式典・講演会)	4
5	令和4年 11月20日	県民ふれあい手話まつり(アトラクション)	4
6	令和4年 11月20日	県民ふれあい手話まつり(式典・講演会・アトラクション)	(4)
7	令和5年 2月5日	岡山県聴覚障害者災害対策本部防災会議	3

者

【岡山県難聴者協会】

	開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和4年 4月 9日	運営会議	2
2	令和4年 5月15日	事務局会議	2
3	令和4年 5月21日	理事会	4
4	令和4年 6月17日	県身障連合会評議員会	2
5	令和4年 6月26日	定期総会	6(2)
6	令和4年 7月 9日	運営会議	3
7	令和4年 8月20日	臨時理事会および運営会議	4
8	令和4年 9月11日	運営会議	3
9	令和4年10月23日	運営会議	3

10	令和4年10月26日	岡山県条例について県障害福祉課との会議	2
11	令和4年11月15日	自民党県連陳情	1
12	令和4年11月20日	運営会議	3
13	令和4年12月10日	運営会議	3
14	令和5年1月15日	運営会議	4
15	令和5年2月21日	県指導監査室の立入検査	2
16	令和5年2月25日	運営会議	3
17	令和5年3月13日	県障害者社会参加促進協議会	2
18	令和5年3月19日	理事会	4
19	令和5年3月24日	県身障連合会臨時評議員会	1

※()は手話通訳者

【その他の団体】(手話通訳者・要約筆記者)

	開催年月日	会議・催事名	人数
1	令和4年5月15日	第21回岡山盲ろう友の会定期総会	2(4)
2	令和4年8月27日	学習会	2

※()は手話通訳者

(7) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的

難聴者、ろうあ者等の聴覚障害者の福祉増進並びに自立支援を行う拠点として設置されている聴覚障害者センターが中心となって、各種講習会等の事業を行い、生活文化の向上、社会参加の促進を図る。

2. 対象 聴覚障害者(ろう者、中途失聴者、難聴者)

3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座等を実施した。

4. 自立支援拠点活動支援のための講座

対象者	回数	参加者数
ろう者	8	162
中途失聴者・難聴者	13	154

5. 自立支援拠点活動支援のための講座（内訳）

【ろうあ者対象の講演会等】

	開催月日	講座等名称	参加者数	開催場所
1	令和4年 5月 7日	遠隔手話通訳の使い方について	16	玉野市
2	令和4年 7月 13日	電話リレーサービスの説明会	28	岡山市
3	令和4年 9月 3日	不幸があった時のマナー	20	倉敷市
4	令和4年 9月 10日	スマホの使い方の講習会	23	岡山市
5	令和4年 11月 14日	防災講習会	20	岡山市
6	令和4年 12月 5日	口腔ケアについて	20	岡山市
7	令和5年 3月 18日	生活応援グッズ体験会	21	岡山市
8	令和5年 3月 20日	夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ	14	岡山市

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

	開催月日	内容	人数	会場
1	月1回程度	難聴者のための手話教室	137	岡山市
2	令和4年 11月 10日	聞こえの相談会（県難協）	17	津山市

（8）手話入り映像ライブラリー等貸出事業

1. 目的

映像等に手話、字幕を挿入したビデオ（DVD）の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 年間の貸出状況

貸出内容	利用者数	本数
映像ライブラリー（手話、字幕付き）の貸出	48	110
手話学習ビデオ・書籍の貸出	64	125

3. ビデオ等保有状況

	令和3年度末保有本数	令和4年度受入本数	令和4年度末保有本数
VHS	2,680	▲617	2,063
DVD	805	39	844

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間の利用状況

・利用者人数・件数 127名・525件

(電源タップ・映像ケーブル・プロジェクター・パソコン・AVセット等)

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	令和4年 5月21日(土)	◇講演「人工内耳について学ぶ」 講師 岡山大学病院 耳鼻咽喉科 助教 菅谷 明子 氏	要約筆記者 ※参加者 58名
②	令和4年 6月26日(日)	◇午前 実技演習(聞き取り通訳演習) ◇午後 事例検討	手話通訳者 ※参加者 87名
③	令和5年 2月4日(土)	◇講演「要約筆記と私～要約筆記があったからこそ社会参加できた～」 講師 全国中途失聴者・難聴者団体「新光会」 会長 小西 佳子 氏	要約筆記者 ※参加者 49名
④	令和5年 2月26日(日)	◇午前 講義「報告書の役割」 講師 香川県聴覚障害者センター 所長 太田 浩之 氏 ◇午後 実技演習	手話通訳者 ※参加者 76名

(11) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア(手話通訳及び要約筆記者等の分野)に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	参加者
①	令和4年 9月4日(日)	◇講演 「自主防災組織の活動について」 講師 総社市下原・砂古自主防災組織 副本部長 川田 一馬 氏 ◇訓練 「遠隔通訳」	78
②	令和5年 1月8日(日)	◇講演 「岡山県における個別避難計画作成の取組について」 講師 岡山県危機管理課 主幹 山崎 寛之 氏 ◇訓練 「遠隔通訳」	47

(12) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者 等）

相談件数	相談者数	同、内訳	
265	272	聾者	200
		難聴者	17
		親族	5
		健聴者	46
		その他	4

3. 相談内容と件数

	相談内容	件数
①	生活・人間関係にかかわること	181
②	情報保障にかかわること	13
③	パソコン、インターネット等にかかわること	18
④	福祉にかかわること	14
⑤	教育にかかわること	2
⑥	健康・医療にかかわること	4
⑦	就労にかかわること	3
⑧	手話・要約筆記にかかわること	15
⑨	日常生活用具等にかかわること	5
⑩	その他	10
	相談件数の合計	265

(13) 聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的

聴覚障害者に対する情報提供に資するため、自主制作映画等を作成し、福祉の増進を図る。

2. 自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	第6回文化講演会「至誠到人 山田 方谷」	完成
②	自主制作「岡山県立森林公園」	完成
②	自主制作「津山藩とコーヒー」	制作中
③	自主制作「児島ジーンズ」	制作中
④	ハマちゃん手話	完成
⑤	令和3年度 耳の日の集い	完成
⑥	手話語り山本さん	完成
⑦	消費生活センター「ももっちといねっち」	完成

◇字幕挿入ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	15周年ふれあいフェスティバル 記念式典	完成
②	〃 記念講演	完成
③	〃 イベント	完成
④	NHK「かたりつぐ～犠牲者ゼロの記録～」	完成

* 自主制作ビデオ等の保有状況 DVD 191本、VHS 13本

(14) その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉の向上のための事業」であり、センター独自に企画した事業。

1. 広報活動の充実

(1) 目的

広報誌「センターだより」の発行と公式サイト（ホームページ）の公開により、聴覚障害者に様々な情報を提供するとともに、好機に広報媒体に情報発信し、センターの周知と利用促進を図る。

(2) 広報誌「センターだより」の発行

- ① 第64号発行・郵送配布・・・6月
- ② 第65号発行・郵送配布・・・10月
- ③ 第66号発行・郵送配布・・・12月
- ④ 第67号発行・郵送配布・・・3月

(3) ホームページの公開

項目	内容	
最終更新日	令和5年4月1日（通常週2回更新）	
アクセス数	TOPページ	780（累計 60,269）（平成29年4月1日～集計）
令和5年3月	Youtube	3,495（累計443,341）（平成29年4月1日～集計）
ホームページ掲載内容	<p>[MENU] TOP、ご案内（概要・沿革、施設・交通案内、各部屋紹介、センター運営、センター事業、センターだより）、映画・動画（字幕付き映画、手話語り、デジタル岡山大百科）、貸出・予約（利用登録について、ビデオ、DVD、コミュニケーション機器、生活応援グッズ、研修室・会議室）、通訳派遣、各種講座（聴覚障害者のための講座、難聴者のための手話教室、手話通訳・要約筆記講座）、その他（更新情報、FAQ・よくある質問、お問合せ、リンク、サイトマップ）</p>	

2. 手話通訳者派遣のコーディネート

(1) 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。

(2) 年間団体派遣数 310件 567名

3. お昼休みのミニ手話教室

(1) 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 内容

- ① 対象者 : きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
- ② 開催状況 : 月2回（第1, 第3木曜日）
開催回数 22回、参加者数 153名
- ③ 開催場所 : きらめきプラザ

4. みんながきらめく手話の会

(1) 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。

(2) 内容

- ① 対象者 : 手話に興味がある人
- ② 開催状況 : 毎週木曜日 (開催回数 45回、参加者数 440名)
- ③ 開催内容 : 手話を介した交流・学習会

5. 「しゅわ」の集い

(1) 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 5回、参加者数 36名)

6. 手話通訳者の集い

(1) 目的

登録手話通訳者 (登録後6年以内) を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

(2) 開催状況 (開催回数 8回、参加者数 90人)

7. のびのび子どもひろば

(1) 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

(2) 活動内容

① 開催日 : 令和4年8月1日 (月)

- ② 参加者 : 38人 内訳
- | | |
|----------|-----------------|
| 子ども | 20名 (うち障害者 12名) |
| おとな | 9名 (うち障害者 7名) |
| 学生ボランティア | 6名 |
| 要約筆記者 | 3名 |

③ 内 容 : 消防士さんのおはなし、絵本よみきかせ、工作

8. 災害対策本部

(1) 目的

- ① 災害発生時に災害に関する情報収集を行う。
- ② 災害発生時に聴覚障害者への救援支援活動等対応策を検討する。
- ③ 災害に備え、聴覚障害者の防災意識や災害対応能力の向上を図る。

(2) 災害対策本部の活動内容

項 目	内 容
(1) 構 成	1 設 立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立 2 構成団体 ① 岡山県聴覚障害者福祉協会 ② 岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県手話通訳士協会 ⑤ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑥ 岡山県聴覚障害者センター
(2) 目 的	1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。 2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を図る。
(3) 活 動	◇第1回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催
	◇第2回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催
	◇第3回会議 令和5年2月5日（日）15:00～16:30 講演：聴覚障害者の災害時・緊急時における緊急通知音振動 変換装置および情報共有システムの有用性の検討 講師：岡大病院 医学博士 片岡 祐子 氏

9. ろう高齢者交流会

(1) 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

(2) 活動の概要

- ① 開催日時：令和4年12月4日（日）
- ② 開催場所：きらめきプラザ
- ③ 内 容：みんなで楽しく元気になりましょう ～動画を見てフレイル予防体操～
- ② 助 成：梶谷福祉基金
- ③ 参 加 者：33名

10. 中期目標の評価と見直し

(1) 目的

センターの各種事業の成果については、平成28年度に策定した第2期中期計画において設定した新たな評価指標に基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価も併せて行う。

なお、本計画は平成29年度から5カ年間の行動計画であり、令和3年度が最終年度となることから、令和4年度から始まる第3期中期計画を策定した。

(2) 令和2度事業評価

(ア) 総合評価・・・・・・・・2.5

(イ) 公表方法

◇第1回センター指定管理者運営委員会（令和4年5月22日（日）開催）

◇センター運営会議（令和5年3月19日（日）開催）

◇センターホームページ

(3) 中期目標の見直し

中期目標に基づき事業評価を行い、実績を検証し次期中期目標の策定に生かす。

1.1. 学校教育との連携

(1) 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

(2) 実施状況

	年月日	学校名	参加者数	備考
1	令和4年 9月26日～30日	岡山市立伊島小学校	156	校外学習
2	令和4年10月 5日～ 6日	岡山県立岡山聾学校	4	校外学習
3	令和4年10月 7日	岡山市立旭操小学校	76	出前講座
4	令和4年11月18日	岡山市立岡山中央小学校 他	21	校外学習
5	令和4年12月19日	岡山県立岡山聾学校	7	総合学習
	合計		264	

1.2. 関係機関や地域社会との連携

(1) 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

(2) 関係機関や地域社会との連携状況（各回1名参加）

	年月日	連携団体名	連携事業内容
1	令和4年 6月 3日	岡山県立聾学校	運営協議会
2	令和4年 8月26日	岡山大学病院(耳鼻咽喉科)	災害避難時に役立つ装置の開発(協力)
3	令和4年 9月21日	〃	〃
4	令和4年10月26日	岡山県立聾学校	運営協議会
5	令和4年10月27日 ～11月 1日	岡山県(福祉相談センター)	第22回全国障害者スポーツ大会

6	令和4年12月4日	真庭市	真庭 Wellbeing フェアでの聴覚障害者用具の展示等
7	令和5年2月3日	岡山県消費生活センター	消費者教育動画の制作
8	令和5年2月8日	岡山県立聾学校	運営協議会
9	令和5年2月24日	岡山県社会福祉協議会	岡山県災害福祉支援ネットワーク推進会議

(3) 文化講演会の実施

- ① 開催日時：令和4年12月11日（日）
- ② 開催場所：きらめきプラザ 301会議室
- ③ 内 容：演題「知ってほしい津山の人物・歴史」
講師 時代小説作家 平茂 寛 氏
- ④ 参加者：26名

1.3. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

(1) 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

- (2) 年間貸出状況（貸出人数 9名、利用件数 9件）
- (3) 年間照会状況（照会人数 0名、照会件数 0件）

1.4. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

(1) 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

- (2) 実施状況（開催回数 10回、出席回数 5回、参加者数 6名）

1.5. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会関係事業への協力

【目的】

全国聴覚障害者情報提供施設協議会への協力の一環として、職員の専門委員会への就任、全国レベルの研修会の開催など、事業の円滑な推進に貢献する。

(1) 手話通訳事業に関する専門委員会への出席

回	開催日	開催場所
第1回	令和4年4月8日（金）	京都市

(2) 総会・施設大会（オンライン参加）

- ・開催日：令和4年6月17日（金）
- ・内 容：事業報告・決算、事業計画・予算、講演・シンポジウム 等
- ・参加者：1名

- (3) 意思疎通支援担当者研修会（オンライン参加）
 - ・開催日：令和4年7月26日（火）～27日（水）
 - ・内 容：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法日常業務の向上のために～各施設で実践している支援あれこれ
 - ・参加者：1名
- (4) 中国・四国ブロック聴覚障害者情報提供施設長会議（岡山開催）
 - ・開催日：令和4年7月28日（木）
 - ・内 容：遠隔通訳サービスに実施体制及びその状況 等
 - ・参加者：3名
- (5) 中国・四国ブロック意思疎通支援担当職員意見交換会（オンライン参加）
 - ・開催日：令和5年1月12日（木）
 - ・内 容：手話通訳者派遣・要約筆記派遣の課題について
意思疎通支援専門委員について
 - ・参加者：3名
- (6) 中国・四国ブロックソフト制作担当職員研修会（岡山開催）
 - ・開催日：令和5年1月19日（木）～20日（金）
 - ・内 容：技術研修及び意見交換会
 - ・参加者：1名
- (7) 中国・四国ブロック聴覚障害者情報提供施設長会議会（オンライン参加）
 - ・開催日：令和5年2月9日（木）
 - ・内 容：ブロック担当理事の選出
2023年度総会&施設大会について 等
 - ・参加者：1名

16. 研修会への参加

【目的】

センター事業の円滑な実施のため、職員の資質の向上を目指す。

- (1) 手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）対策（遠隔地研修）
 - ・開催日：令和4年4月28日
 - ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：講義研修、実技研修（自己学習）、実技研修（集団学習）
- (2) 聴覚障害者情報提供施設等職員対象 電話リレーサービス説明会
 - ・開催日：令和4年5月19日、25日
 - ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：電話リレーサービスの概要等
- (3) 意思疎通支援担当者研修会（再掲）
 - ・開催日：令和4年7月26日～27日

- ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：聴覚障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法日常業務の向上のために～各施設で実践している支援あれこれ
- (4) 要約筆記者研修会
- ・開催日：令和4年10月9日、11月6日
 - ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：話しことばの誘惑2「副詞のキモチ」
話しことばの誘惑3「気まぐれ接続詞」
- (5) 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会
- ・開催日：令和4年11月10日～11日
 - ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：聴覚障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法についてあらためて字幕制作について考える 等
- (6) 手話通訳者研修会
- ・開催日：令和4年11月23日
 - ・場 所：オンライン研修
 - ・内 容：技術「読み取り」
講義「手話通訳とろうあ相談員との連携のあり方」
- (7) 防災・福祉対応力工場研修
- ・開催日：令和4年11月21日、12月5日
 - ・場 所：きらめきプラザ301会議室
 - ・内 容：個別避難計画作成に必要な知識や技術の習得

17. 電話リレーサービスの推進

【目的】

令和3年7月1日から「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」に基づく電話リレーサービスが開始された。

聴覚障害者が必要に応じて健聴者と電話できるように、通訳者が間に入って通訳するサービスの提供体制を作ることで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立が高まることを目的とする。

(1) 地域講習会の開催

- ・開催日：令和4年8月6日
- ・場 所：きらめきプラザ401会議室
- ・内 容：電話リレーサービスの仕組み 利用方法 登録方法 等
- ・参加者：23名

(2) 利用登録会の実施（スマホの操作が苦手な登録できていない方を対象にして登録のお手伝いを行う。）

- ・開催日：令和4年10月16日、24日
11月以降は毎週月曜日に実施（祝日を除く）
- ・場 所：聴覚障害者センター内の研修室等
- ・内 容：登録のお手伝い
- ・参加者：10月：7名 1月：なし
 11月：なし 2月：なし
 12月：2名 3月：なし

18. 遠隔手話サービス等の推進

【目的】

聴覚障害者が医療機関を受診するときや災害時等において、手話通訳者等の同行が困難な場合に、聴覚障害者の情報アクセス及びコミュニケーションを保障するとともに、手話通訳者等の感染防止などを図るため、市町村を実施主体とした遠隔手話サービス等を推進する。

(1) 市町村に貸与したタブレットの管理を行うとともに、災害救援専門ボランティア研修会に併せた遠隔通訳訓練や県・市町村との意見交換会等を行う。

<第1回訓練>

- ・日 時：令和4年9月4日（日）14時半～15時半
- ・場 所：301会議室及び相談室（通訳ブース）
- ・内 容：Zoom使用により手話・要約の遠隔を実施
- ・参加者：78名

<第2回訓練>

- ・日 時：令和5年1月8日（日）14時45分～15時半
- ・場 所：301会議室及び相談室（通訳ブース）
- ・内 容：Zoom使用により手話・要約の遠隔を実施
- ・参加者：47名

<市町村との意見交換会>

- ・日時等：令和5年1月30日（月）13時半～15時半 美作会場
 2月 2日（木）13時半～15時半 高梁会場
 2月 6日（月）13時半～15時半 岡山会場
- ・内 容：各市町村の現状把握。意見交換。事務連絡。
- ・参加者：各市町村の担当者（16市町参加）

8. 電話リレーサービス通訳オペレーション業務（公8）

平成30年9月1日から、電話リレーサービス提供事業を「岡山県聴覚障害者センター運営管理事業(公7)」として実施していたが、令和3年7月から協会の自主事業として実施することに伴い、「電話リレーサービス通訳オペレーション業務（公8）」を追加（新設）し、電話リレーサービス提供事業を実施した。

（1）目的

聴覚障害者が一人で必要に応じて健聴者と電話できるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が健聴者と電話する際に、通訳者が間に入って通訳するサービス）を実施することで、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立の推進に資することを目的とするものである。

（2）年間の利用状況

令和4年度は、文字のオペレーションを実施した。（件数：10,229件）

事業実施のための財源は、一般財団法人日本財団電話リレーサービスからの業務委託費を充当した。

II 収益事業

1. 出版物販売（収1）

一般財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

2. その他の収益事業

(1) コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

(2) 事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

3. その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

日 程	内 容	会 場
令和4年 4月24日 ～ 5月29日	第22回岡山県障害者スポーツ大会	岡山県
令和4年 5月14日	第22回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技中国・四国地区予選大会	中 止
令和4年 9月15日 ～ 9月18日	第56回全国ろうあ者体育大会	北海道
令和4年10月29日 ～10月31日	第22回全国障害者スポーツ大会	栃木県

(2) 全国手話検定試験実施

第17回全国手話検定試験

- ・開催年月日 令和4年10月8日（土）、9日（日）、15日（土）
- ・会 場 岡山市
- ・試験内容 5級・4級・3級・2級・準1級・1級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会 場
令和4年 6月19日	第11回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会	倉敷市
令和4年10月23日	第17回岡山県高齢者のつどい	岡山市
令和4年11月20日	第38回県民ふれあい手話まつり	井原市
令和5年 3月12日	2023年 耳の日の集い	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
令和4年 6月 9日 ～ 6月12日	第70回全国ろうあ者大会及び付帯行事	広島県
令和4年 6月10日	2022年度全国福祉担当者会議	広島県
令和4年11月 1日	2022年度全国情報・コミュニケーション担当者会議	オンライン
令和5年 1月23日 ～ 1月27日	2022年度ろう教育担当者会議	オンライン
令和4年10月 6日 ～ 10月 9日	第34回全国ろうあ高齢者大会 全国ろうあ高齢者スポーツ大会 第36回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会 第13回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会	千葉県
令和4年12月16日 ～ 12月17日	第32回全国専従職員研修会	兵庫県
1. 令和 4年 9月 1日 2. 令和 5年 2月 2日	出版物対策研究会議 (オンライン開催)	オンライン
令和4年 9月30日 ～ 10月 2日	第52回全国ろうあ女性集会	三重県
令和4年11月26日 ～ 11月27日	第56回全国ろうあ青年研究討論会 (オンライン開催)	鹿児島県
令和4年11月18日 ～ 11月19日	第35回全国ろうあ者相談員研修会・ 第26回全国職業安定所手話協力員等研修会兼 ろうあ者労働問題フォーラム	大阪府
令和4年11月18日	2022年度全国労働担当者会議	大阪府
令和4年11月23日	2022年度機関紙担当者研修会 (オンライン開催)	オンライン

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
令和4年 7月24日 ～ 7月25日	第45回中国地区ろうあ女性集会	岡山県
	第29回中国地区ろう文化学習会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)	中 止
令和4年11月26日 ～11月27日	中国地区ろうあ連盟秋の集い	鳥取県
令和4年10月29日 ～10月30日	第36回中国地区ろうあ高齢者大会	山口県
令和4年10月30日	第29回中国地区合同手話研修会 (オンライン開催)	島根県

(6) 手話関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会と岡山県手話通訳士協会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

- ア. 三団体代表者会議 月1回開催
- イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- ウ. 手話放送委員会
- エ. 手話言語法対策推進委員会
- オ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

【 開催実施 】

日 程	内 容	会 場
令和4年 7月17日	第36回岡山県手話通訳問題研究集会	岡山市
令和4年 8月20日 ～ 8月21日	第55回全国手話通訳問題研究集会 (オンライン開催)	茨城県

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳士協会、岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA等との連携を深めるため、会議を開催した。

- ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- イ. 手話言語法対策推進委員会
- ウ. 岡山県聴覚障害者福祉協会災害対策本部
- エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

- ① 岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。
- ② 各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。
 - ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助
本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。
 - イ. 各支部の自主的な活動及び運営への援助
7支部（岡山・倉敷・玉野・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。
- ③ 理事業
総会・三団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。
 - ア. 総会
 - イ. 三役会議
 - ウ. 理事会
 - エ. 各種専門委員会